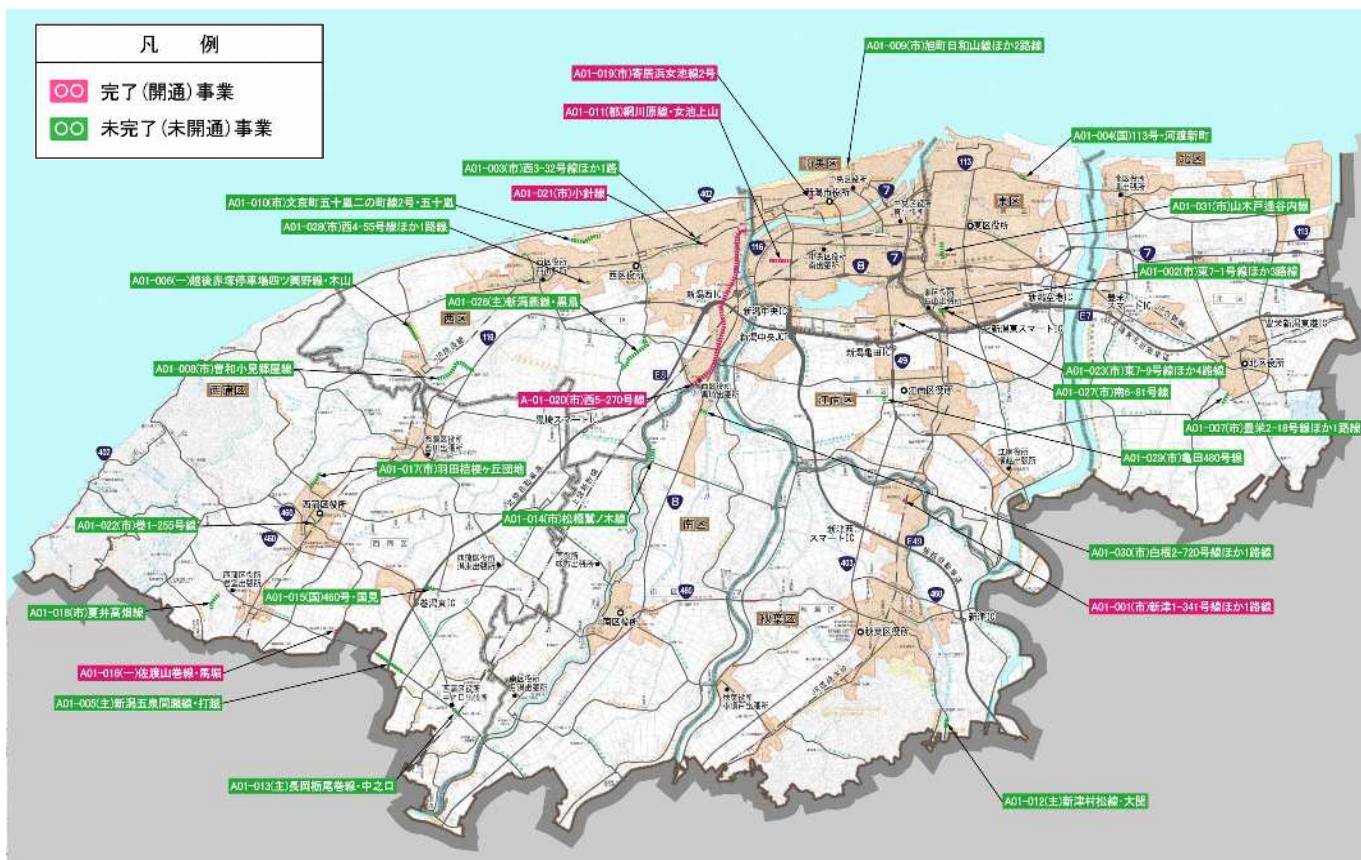


計画の概要	計画の成果指標(定量的指標)					
	成果目標	定量的評価指標	現況値	中間値	目標値	実績値
◎計画期間：平成29年度～令和3年度(5年間) ◎計画の目標 ・生活空間の安全性・利便性の向上を図るため、通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策を推進するとともに、交通結節点におけるバリアフリー整備を推進する。 ◎総事業費：約47億円	◎通学児童の安全・安心の向上を図り、新潟市内の小学生の交通事故件数を、平成28年度末の57件から平成33年度末に40件(3割減少)に減少させる。	●新潟市内の小学生の年間あたり事故件数	57件	—	40件	37件
	◎誰にでもわかりやすく、使いやすい公共交通を実現するために、駅前広場整備(小針駅、越後石山駅)に伴う路線バス乗入れによる公共交通間(鉄道⇄バス)の乗り換え時間を、平成29年度の4.4分から平成33年度に1.0分に短縮する。	●駅前広場整備に伴う路線バス乗入れによる公共交通間の乗り換え時間の短縮 Σ(乗り換え移動距離/歩行速度)	264秒	—	60秒	264秒



整備事例：(市)寄居浜女池線2号



今後の方針等

◇生活空間の安全性・利便性の向上を図るため、引き続き通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策を推進し、更なる交通事故減少を目指す。
 ◇交通結節点におけるバリアフリー確保については、引き続き鉄道駅周辺の事業を推進することで、乗り換え時間短縮や誰もが移動しやすい環境確保を図る。